

第40回インフォメーション・ミーティング

付 属 資 料 集

2021年6月2日（水）
株式会社 山梨中央銀行

付属資料

➤ 当行プロフィール	2
➤ 2020年度決算の概況	3
➤ 自己資本比率の状況	5
➤ 資本配賦の状況	6
➤ 従業員数・店舗数の推移	7
➤ 預金の状況	8
➤ 貸出金の状況	10
➤ 業種別貸出金（ローンポートフォリオ）	12
➤ 規模別・地域別貸出金残高（未残）	13
➤ リスク管理債権	14
➤ 金融再生法開示債権	15

➤ 債務者区分の遷移	16
➤ 預金・貸出金シェアの状況（山梨県内）	17
➤ 有価証券ポートフォリオ	18
➤ マーケット別収益状況	20
➤ グループ会社一覧	21

山梨県の経済

➤ 山梨県内の地場産業	23
➤ 高速交通網の整備	24
➤ 最近の県内経済動向	25
➤ 山梨県経済の特性・構造	32
➤ 山梨県の県勢・経済指標	37

本資料には、将来の業績に関する記述が含まれております。こうした記述は、将来の業績を保証するものではなく、リスクや不確実性を内包するものです。

将来の業績は、経営環境の変化などにより、目標対比異なる可能性があることにご留意ください。

会社概要 (2021年3月末現在)

【創業】	1877年（明治10年） 4月
【創立】	1941年（昭和16年） 12月
【本店所在地】	甲府市丸の内1丁目20番8号
【資本金】	154億円
【従業員数】	1,660人
【営業店舗数】	本支店・出張所 92 （山梨 75(※)、東京 16、神奈川 1) 海外駐在員事務所 1（香港） ※うち、インターネット支店 1
【指定金融機関受託状況】	山梨県、県内27市町村中23市町村



本店

<経営理念>

「地域密着と健全経営」

当行は、地域に根ざし、地域社会の繁栄と経済発展に寄与するとともに、お客さまから信頼していただける健全な経営姿勢を堅持し、経営内容の充実に努めてまいります。

2020年度決算の概況 ①

(百万円、%)

	19/3期	20/3期	21/3期	20/3期－19/3期		21/3期－20/3期		
				増 減	増減率	増 減	増減率	
平	資金運用勘定	2,906,359	2,961,469	3,285,681	55,110	1.89	324,212	10.94
	うち貸出金	1,630,434	1,706,513	1,883,182	76,079	4.66	176,669	10.35
	有価証券	1,174,745	1,165,502	1,233,980	△ 9,243	△ 0.78	68,478	5.87
	コールローン	14,344	3,901	3,210	△ 10,443	△ 72.80	△ 691	△ 17.71
	預け金（除無利息分）	73,700	72,290	149,617	△ 1,410	△ 1.91	77,327	106.96
残	資金調達勘定	3,112,252	3,287,069	3,678,320	174,817	5.61	391,251	11.90
	うち預金等	2,954,676	3,012,070	3,239,051	57,394	1.94	226,981	7.53
	コールマネー	6	44,279	86,769	44,273	737,883.33	42,490	95.95
	(参考) 金銭の信託	－	5,573	9,986	5,573	－	4,413	79.18
利 回 ・ 利 鞅	資金運用利回	1.05	0.94	0.86	△ 0.11		△ 0.08	
	うち貸出金利回	0.97	0.92	0.87	△ 0.05		△ 0.05	
	有価証券利回	1.23	1.01	0.94	△ 0.22		△ 0.07	
	コールローン利回	0.63	1.48	0.09	0.85		△ 1.39	
	預け金利回	0.09	0.10	0.09	0.01		△ 0.01	
	資金調達利回	0.02	0.02	0.01	0.00		△ 0.01	
	うち預金等利回	0.01	0.01	0.00	0.00		△ 0.01	
	コールマネー利回	2.18	△ 0.02	△ 0.02	△ 2.20		0.00	
	借入金利回	0.03	0.01	0.00	△ 0.02		△ 0.01	
	経費率	0.89	0.85	0.77	△ 0.04		△ 0.08	
	資金調達原価	0.87	0.80	0.69	△ 0.07		△ 0.11	
	預貸金利回差	0.96	0.91	0.87	△ 0.05		△ 0.04	
	資金運用・調達利回差	1.03	0.92	0.85	△ 0.11		△ 0.07	
預貸金利鞅	0.06	0.06	0.09	0.00		0.03		
総資金利鞅	0.18	0.14	0.17	△ 0.04		0.03		

(注) 21/3期から投資信託解約損益にかかる表示方法の変更を行っており、20/3期は組替後の計数です。

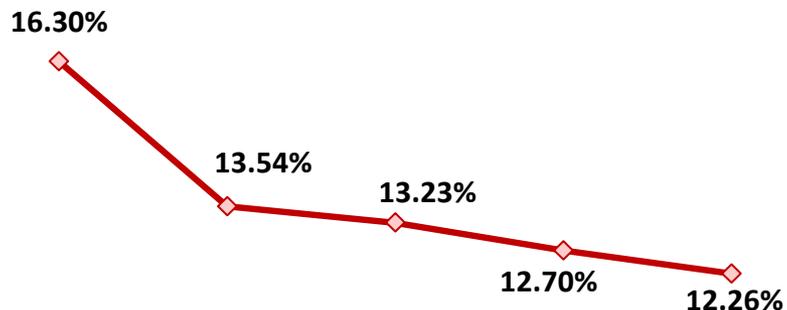
2020年度決算の概況 ②

(百万円、%)

	19/3期	20/3期	21/3期	20/3期－19/3期		21/3期－20/3期		
				増減額	増減率	増減額	増減率	
損	資金利益	29,812	27,091	27,991	△ 2,721	△ 9.12	900	3.32
	うち貸出金利息	15,870	15,843	16,529	△ 27	△ 0.17	686	4.32
	有価証券利息	14,536	11,857	11,624	△ 2,679	△ 18.43	△ 233	△ 1.96
	コールローン利息	91	57	3	△ 34	△ 37.36	△ 54	△ 94.73
	預け金利息	73	72	149	△ 1	△ 1.36	77	106.94
	役務取引等利益	4,666	4,952	5,640	286	6.12	688	13.89
	その他業務利益	4,424	△ 628	△ 2,107	△ 5,052	△ 114.19	△ 1,479	△ 235.50
	うち国債等債券関係損益	4,920	△ 150	△ 2,010	△ 5,070	△ 103.04	△ 1,860	△ 1,240.00
	一般貸倒引当金繰入額	1,039	42	△ 519	△ 997	△ 95.95	△ 561	△ 1,335.71
	経費	26,502	25,606	25,065	△ 896	△ 3.38	△ 541	△ 2.11
業務純益	11,360	5,765	6,978	△ 5,595	△ 49.25	1,213	21.04	
修正業務純益	12,400	5,808	6,459	△ 6,592	△ 53.16	651	11.20	
コア業務純益	7,480	5,959	8,469	△ 1,521	△ 20.33	2,510	42.12	
除く投信解約損益	4,063	5,959	8,469	1,896	46.66	2,510	42.12	
益	臨時損益	△ 4,840	79	△ 1,589	4,919	101.63	△ 1,668	△ 2,111.39
	うち貸倒引当金戻入益	－	－	－	－	－	－	－
	株式等関係損益	66	1,309	590	1,243	1,883.33	△ 719	△ 54.92
	投資信託解約損	5,210	－	－	△ 5,210	△ 100.00	－	－
	不良債権処理額	△ 610	922	1,476	1,532	251.14	554	60.08
	経常利益	6,520	5,844	5,388	△ 676	△ 10.36	△ 456	△ 7.80
	特別損益	△ 228	△ 641	△ 568	△ 413	△ 181.14	73	11.38
	法人税、住民税及び事業税	542	1,170	1,922	628	115.86	752	64.27
	法人税等調整額	1,254	601	241	△ 653	△ 52.07	△ 360	△ 59.90
	当期純利益	4,494	3,430	2,655	△ 1,064	△ 23.67	△ 775	△ 22.59

(注) 21/3期から投資信託解約損益にかかる表示方法の変更を行っており、20/3期は組替後の計数です。

自己資本比率の推移



自己資本比率12.26%は
国内基準適用行54行中 第1位

(当行調べ)

17/3 18/3 19/3 20/3 21/3

自己資本額の内訳

(億円)

	17/3期	18/3期	19/3期	20/3期	21/3期
自己資本額	1,756	1,729	1,775	1,781	1,788
リスク・アセット等	10,768	12,766	13,415	14,023	14,583

リスク・アセット等の算出方法

信用リスク	標準的手法
オペレーショナル・リスク	粗利益配分手法

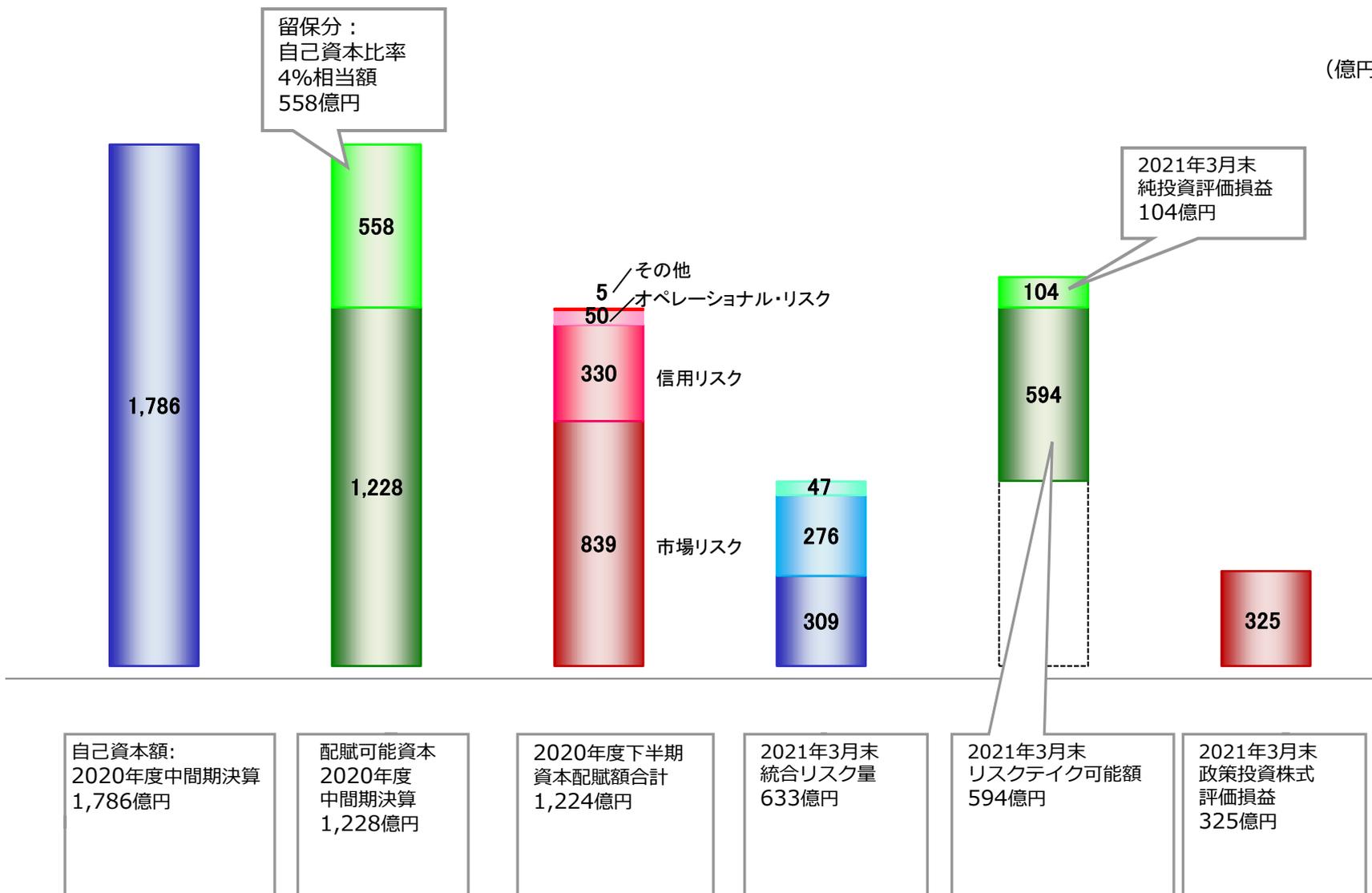
(参考)

銀行勘定の金利リスク (21/3期末)

金利リスク量	180億円
自己資本の額	1,788億円
銀行勘定の金利リスク(IRRBB)	10.0%

※コア預金の算定に内部モデルを使用しております。

(億円)



1. 平残

(1) 地域別

(億円、%)

	18/3	19/3	20/3	21/3			22/3 (計画)		
					前期比 (額)	" (率)		前期比 (額)	" (率)
県内	25,675	26,048	26,638	28,602	1,964	7.3	29,206	604	2.1
東京・新宿	665	677	681	742	61	8.9	780	38	5.1
西東京	2,832	2,820	2,801	3,045	244	8.7	3,033	△ 12	△ 0.3
合計	29,173	29,546	30,120	32,390	2,269	7.5	33,020	630	1.9

(2) マーケット別

(億円、%)

	18/3	19/3	20/3	21/3			22/3 (計画)		
					前期比 (額)	" (率)		前期比 (額)	" (率)
金融機関	127	133	147	157	10	6.8	154	△ 3	△ 1.9
地公体等	1,970	2,001	2,076	2,084	8	0.3	1,875	△ 209	△ 10.0
一般法人	6,146	6,286	6,487	7,591	1,104	17.0	8,031	440	5.7
個人	20,928	21,125	21,409	22,556	1,147	5.3	22,960	404	1.7
合計	29,173	29,546	30,120	32,390	2,269	7.5	33,020	630	1.9

2. 未残

(1) 地域別

(億円、%)

	18/3	19/3	20/3	21/3	前期比		22/3 (計画)	前期比	
					(額)	" (率)		(額)	" (率)
県内	26,041	26,496	26,859	30,500	3,641	13.5	29,892	△ 608	△ 1.9
東京・新宿	653	642	695	746	51	7.3	802	56	7.5
西東京	2,806	2,801	2,872	3,225	353	12.2	3,254	29	0.8
合計	29,501	29,940	30,427	34,472	4,045	13.2	33,949	△ 523	△ 1.5

(2) マーケット別

(億円、%)

	18/3	19/3	20/3	21/3	前期比		22/3 (計画)	前期比	
					(額)	" (率)		(額)	" (率)
金融機関	242	278	297	276	△ 21	△ 7.0	273	△ 3	△ 1.0
地公体等	2,018	2,111	1,934	3,162	1,228	63.4	2,068	△ 1,094	△ 34.5
一般法人	6,280	6,390	6,630	7,873	1,243	18.7	8,403	530	6.7
個人	20,960	21,158	21,564	23,160	1,596	7.4	23,204	44	0.1
合計	29,501	29,940	30,427	34,472	4,045	13.2	33,949	△ 523	△ 1.5

1. 平残
 (1) 地域別 (億円、%)

	18/3	19/3	20/3	21/3	前期比 (額)	" (率)	22/3 (計画)	前期比 (額)	" (率)
県内	7,918	8,293	8,647	9,253	605	7.0	9,869	616	6.6
東京・新宿	3,351	3,658	4,019	4,739	720	17.9	5,228	489	10.3
西東京	2,222	2,551	2,718	3,100	382	14.0	3,356	256	8.2
本部所管貸出	1,766	1,801	1,678	1,738	59	3.5	1,281	△ 457	△ 26.2
合計	15,258	16,304	17,065	18,831	1,766	10.3	19,736	905	4.8

(注) 本部所管貸出は、財務省向け貸出、譲受債権および山梨県当貸等をいう。

(2) マーケット別 (億円、%)

	18/3	19/3	20/3	21/3	前期比 (額)	" (率)	22/3 (計画)	前期比 (額)	" (率)
金融機関	203	262	310	323	13	4.1	578	255	78.9
地公体等	2,646	2,763	2,730	3,109	378	13.8	2,761	△ 348	△ 11.1
一般法人	8,844	9,599	10,181	11,451	1,270	12.4	12,304	853	7.4
個人	3,563	3,678	3,841	3,946	104	2.7	4,091	145	3.6
合計	15,258	16,304	17,065	18,831	1,766	10.3	19,736	905	4.8

2. 未残

(1) 地域別

(億円、%)

	18/3	19/3	20/3	21/3	前期比		22/3 (計画)	前期比	
					(額)	" (率)		(額)	" (率)
県内	8,481	8,824	9,172	10,484	1,312	14.3	10,956	472	4.5
東京・新宿	3,491	3,823	4,346	4,897	551	12.6	5,033	136	2.7
西東京	2,444	2,686	2,916	3,276	360	12.3	3,505	229	6.9
本部所管貸出	1,847	1,773	1,647	1,266	△ 381	△ 23.1	1,241	△ 25	△ 1.9
合計	16,265	17,108	18,082	19,924	1,842	10.1	20,737	813	4.0

(注) 本部所管貸出は、財務省向け貸出、譲受債権および山梨県当貸等をいう。

(2) マーケット別

(億円、%)

	18/3	19/3	20/3	21/3	前期比		22/3 (計画)	前期比	
					(額)	" (率)		(額)	" (率)
金融機関	248	279	319	410	91	28.5	579	169	41.2
地公体等	2,752	2,811	2,977	3,322	345	11.5	3,366	44	1.3
一般法人	9,634	10,255	10,868	12,187	1,319	12.1	12,469	282	2.3
個人	3,629	3,762	3,916	4,004	88	2.2	4,322	318	7.9
合計	16,265	17,108	18,082	19,924	1,842	10.1	20,737	813	4.0

業種別貸出金（ローンポートフォリオ）

（金額単位：百万円）

	20/3期		21/3期		前期比増減	
	貸出残高	構成比	貸出残高	構成比	貸出残高	構成比
製造業	203,445	11.3%	237,238	11.9%	33,793	0.6P
農業、林業	3,607	0.2%	3,670	0.2%	63	0.0P
漁業	39	0.0%	27	0.0%	△ 12	0.0P
鉱業、採石業、砂利採取業	4,402	0.2%	3,913	0.2%	△ 489	0.0P
建設業	43,166	2.4%	54,938	2.8%	11,772	0.4P
電気・ガス・熱供給・水道業	30,401	1.7%	35,128	1.8%	4,727	0.1P
情報通信業	17,150	0.9%	19,527	1.0%	2,377	0.1P
運輸業、郵便業	93,339	5.2%	106,518	5.3%	13,179	0.1P
卸売業、小売業	125,568	6.9%	152,319	7.6%	26,751	0.7P
金融業、保険業	77,319	4.3%	81,728	4.1%	4,409	△ 0.2P
不動産業、物品賃貸業	328,038	18.1%	363,418	18.2%	35,380	0.1P
不動産業	246,491	13.6%	277,494	13.9%	31,003	0.3P
地方公社	18,987	1.0%	23,019	1.1%	4,032	0.1P
物品賃貸業	62,559	3.5%	62,905	3.2%	346	△ 0.3P
その他サービス業	166,350	9.2%	176,580	8.9%	10,230	△ 0.3P
国・地方公共団体	297,704	16.5%	332,280	16.7%	34,576	0.2P
その他（個人）	417,698	23.1%	425,200	21.3%	7,502	△ 1.8P
貸出金合計	1,808,232	100.0%	1,992,491	100.0%	184,259	—

規模別・地域別貸出金残高（未残）

（億円、%、ポイント）

		全 体			山梨県内			西東京ブロック			東京ブロック			本部所管貸出			
		20/3期	21/3期		20/3期	21/3期		20/3期	21/3期		20/3期	21/3期		20/3期	21/3期		
			前期比			前期比			前期比			前期比					
国 地方公共団体	残高	2,977	3,322	345	2,260	3,033	773	9	43	34	11	7	△ 4	695	237	△ 458	
	構成比	16.5%	16.7%	0.2	24.6%	28.9%	4.3	0.3%	1.8%	1.5	0.3%	0.1%	△ 0.1	42.2%	18.7%	△ 23.5	
事 業 性	残高	10,927	12,350	1,423	3,758	4,253	495	1,907	2,206	299	4,307	4,861	554	951	1,028	77	
	構成比	60.4%	62.0%	1.6	41.0%	40.6%	△ 0.4	65.4%	67.3%	1.9	99.1%	99.3%	0.2	57.7%	81.2%	23.5	
	大 企 業	残高	4,041	4,557	516	304	336	32	124	122	△ 2	3,199	3,483	284	413	614	201
		構成比	22.3%	22.9%	0.5	3.3%	3.2%	△ 0.1	4.3%	3.7%	△ 0.5	73.6%	71.1%	△ 2.5	25.1%	48.5%	23.4
	中堅企業	残高	225	176	△ 49	91	56	△ 35	61	54	△ 7	72	65	△ 7	-	-	-
		構成比	1.2%	0.9%	△ 0.4	1.0%	0.5%	△ 0.5	2.1%	1.6%	△ 0.4	1.7%	1.3%	△ 0.3	-	-	-
	中小企業	残高	6,660	7,616	956	3,363	3,860	497	1,722	2,029	307	1,036	1,312	276	538	413	△ 125
		構成比	36.8%	38.2%	1.4	36.7%	36.8%	0.2	59.1%	61.9%	2.9	23.8%	26.8%	3.0	32.7%	32.6%	△ 0.0
	非事業性個人	残高	4,176	4,252	76	3,153	3,196	43	997	1,026	29	25	29	4	-	-	-
		構成比	23.1%	21.3%	△ 1.8	34.4%	30.5%	△ 3.9	34.2%	31.3%	△ 2.9	0.6%	0.6%	0.0	-	-	-
合 計	残高	18,082	19,924	1,842	9,172	10,484	1,312	2,916	3,276	360	4,346	4,897	551	1,647	1,266	△ 381	
	構成比	100.0%	100.0%	-	100.0%	100.0%	-	100.0%	100.0%	-	100.0%	100.0%	-	100.0%	100.0%	-	

<銀行法に基づくリスク管理債権の開示>

当行では、部分直接償却を実施しておりません。

(金額単位：億円)

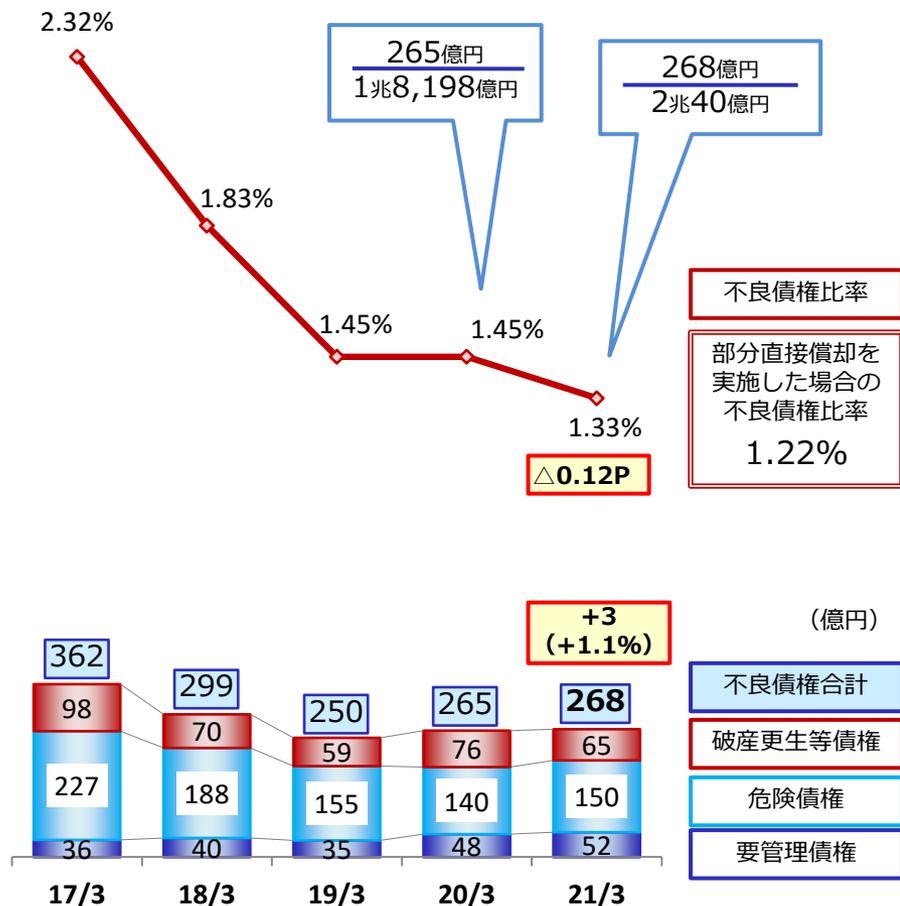
	20 / 3 期末	21 / 3 期末	前期比増減	21 / 3 期末連結
破綻先債権額	25	24	△ 0	25
延滞債権額	190	190	0	193
3 カ月以上延滞債権額	0	0	△ 0	0
貸出条件緩和債権額	48	52	3	52
リスク管理債権額合計 (A) (貸出金残高に占める比率)	264 (1.46%)	268 (1.34%)	3 (△ 0.12 P)	271 (1.36%)
担保・保証等による保全額 (B) (個別貸倒引当金を含む)	221	223	2	226
カバー率 (B) ÷ (A)	83.75%	83.47%	△ 0.28 P	83.62%
一般貸倒引当金残高 (C)	46	41	△ 5	59
カバー率 (一般貸倒引当金を含む) (B+C) ÷ (A)	101.47%	99.03%	△ 2.44 P	105.45%

※部分直接償却を実施した場合のリスク管理債権額 (単体) は、以下のとおりとなります。

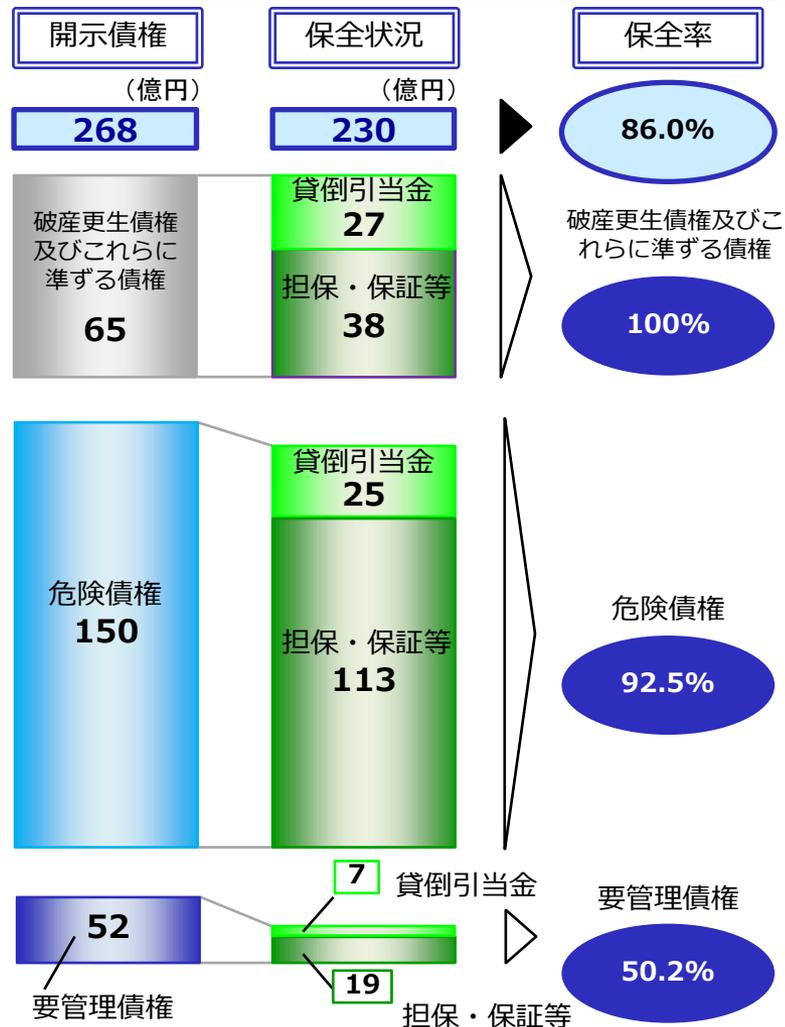
(金額単位：億円)

	21 / 3 期末 部分直接償却前①	21 / 3 期末 部分直接償却後②	増減 ② - ①
破綻先債権額	24	15	△ 9
延滞債権額	190	177	△ 13
3 カ月以上延滞債権額	0	0	0
貸出条件緩和債権額	52	52	0
リスク管理債権額合計 (貸出金残高に占める比率)	268 (1.34%)	245 (1.23%)	△ 22 (△ 0.11 P)

金融再生法開示債権額・比率の推移



金融再生法開示債権の保全状況



(億円)

総与信残高ベース (20/3期末→21/3期末)		21/3期末						破綻懸念先 以下への 劣化比率	
		正常先	その他 要注意先	要管理先	破綻懸念先	実質破綻先	破綻先		
20 / 3 期 末	新規	-	1,259	41	-	0	0	-	
	正常先	16,791	17,142	158	6	19	1	-	0.12%
	その他 要注意先	1,074	67	1,007	20	2	1	0	0.51%
	要管理先	61	3	11	45	1	-	-	2.59%
	破綻懸念先	140	0	3	-	125	1	0	
	実質破綻先	50	0	0	-	0	35	4	
	破綻先	25	-	-	-	-	-	19	
	合計	18,143	18,473	1,223	73	150	40	24	

 下方遷移
 上方遷移

(注) 残高は、貸出金・支払承諾・外国為替・与信関係仮払金・未収利息を含めた総与信残高ベース。

ただし、国・地方公共団体の残高および自己査定非抽出先は「正常先」に含めて記載。

1. 預金シェア

(%、ポイント)

	17/3	17/9	18/3	18/9	19/3	19/9	20/3	20/9	21/3	前期比
当行	49.6	49.4	49.9	49.0	49.7	49.3	49.8	49.6	51.2	1.4
大手行	7.0	7.0	7.0	7.0	7.1	7.0	7.0	6.8	6.7	▲ 0.3
信金・信組	28.6	28.1	28.1	28.1	27.9	27.8	27.6	28.1	27.3	▲ 0.2
JA	13.1	13.8	13.4	14.1	13.5	14.1	13.8	13.7	12.9	▲ 0.8
政府系ほか	1.7	1.7	1.6	1.8	1.8	1.8	1.9	1.8	1.8	▲ 0.1

※ゆうちょ銀行を除く

2. 貸出金シェア

(%、ポイント)

	17/3	17/9	18/3	18/9	19/3	19/9	20/3	20/9	21/3	前期比
当行	41.1	40.4	41.8	41.4	43.4	43.6	44.9	43.6	45.8	0.9
大手行	8.8	8.8	8.6	8.5	8.2	8.2	8.0	7.5	7.2	▲ 0.8
信金・信組	34.2	34.7	34.0	33.6	32.4	32.0	30.4	29.8	28.6	▲ 1.8
JA	6.7	6.9	6.4	6.5	6.1	6.2	5.9	5.7	5.3	▲ 0.6
政府系ほか	9.2	9.2	9.3	10.0	9.9	10.1	10.8	13.5	13.1	2.3

<時価評価前残高の推移>

(億円、%、ポイント)

	18/3期		19/3期		20/3期		21/3期		前期比増減	
	残高	構成比	残高	構成比	残高	構成比	残高	構成比	残高	構成比
国債	3,763	31.1	3,387	31.2	3,039	25.2	3,242	25.6	203	0.4
地方債	1,689	14.0	1,827	16.8	2,679	22.2	3,448	27.2	769	5.0
社債	574	4.8	594	5.5	1,074	8.9	1,261	9.9	187	1.0
株式	405	3.3	341	3.1	325	2.7	295	2.3	△ 30	△ 0.4
政策投資株式	255	2.1	245	2.2	219	1.8	212	1.7	△ 7	△ 0.1
純投資株式	150	1.2	95	0.9	106	0.9	82	0.6	△ 24	△ 0.3
投資信託等	5,251	43.5	4,374	40.3	4,382	36.3	3,746	29.5	△ 636	△ 6.8
外貨建債券	394	3.3	330	3.0	561	4.7	692	5.5	131	0.8
合計	12,078	100.0	10,855	100.0	12,063	100.0	12,687	100.0	624	

<有価証券利息の推移>

(百万円、%、ポイント)

	18/3期		19/3期		20/3期		21/3期		前期比増減	
	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比	金額	構成比
円建債券	4,822	39.4	4,632	41.7	3,841	32.4	3,522	30.3	△ 319	△ 2.1
株式	1,169	9.6	1,369	12.3	1,207	10.2	1,091	9.4	△ 116	△ 0.8
投資信託等	3,714	30.3	4,307	38.7	5,905	49.8	6,418	55.2	513	5.4
外貨建債券	2,537	20.7	810	7.3	903	7.6	591	5.1	△ 312	△ 2.5
合計	12,242	100.0	11,119	100.0	11,857	100.0	11,624	100.0	△ 233	

※21/3期から、投信解約損益をネット処理し、収益超過の場合は有価証券利息、損失超過の場合は国債等債券償還損に計上する決算処理に変更（過去分も同様の決算処理に修正して表示）

<利回りの推移>

(%)

	18/3期	19/3期	20/3期	21/3期	前期比 増減 (P)
円 建 債 券	0.84	0.73	0.59	0.46	△ 0.13
株 式	3.39	3.56	3.67	3.43	△ 0.24
投 資 信 託 等	0.92	0.90	1.35	1.59	0.24
円 貨 建 計	0.96	0.90	0.98	0.91	△ 0.07
外 貨 建 債 券	2.06	2.39	1.86	1.71	△ 0.15
合 計	1.08	0.94	1.01	0.94	△ 0.07

<評価損益の推移>

(億円)

	18/3期	19/3期	20/3期	21/3期	前期比 増減
円 建 債 券	212	185	112	74	△ 38
株 式	319	321	188	354	166
うち政策投資株式	294	310	194	325	131
投 資 信 託 等	△ 26	18	△ 142	9	151
外 貨 建 債 券	△ 8	0	35	△ 8	△ 43
合 計	496	525	194	429	235

<売買損益の推移>

(百万円)

	18/3期	19/3期	20/3期	21/3期	前期比 増減
国 債 等 債 券 損 益	△ 3,256	3,126	△ 150	△ 2,010	△ 1,860
国債等債券売却益	2,164	5,242	1,542	4,879	3,337
国債等債券売却損	1,471	322	-	1,599	1,599
国債等債券償却	-	-	102	33	△ 69
国債等債券償還損	3,949	1,793	1,591	5,257	3,666
株 式 等 関 係 損 益	6,457	66	1,309	590	△ 719
株式等売却益	6,457	3,414	2,006	2,215	209
株式等売却損	-	3,348	537	842	305
株式等償却	-	-	158	782	624
合 計	3,201	3,192	1,158	△ 1,420	△ 2,578

<投資信託解約益・解約損の推移>

(百万円)

	18/3期	19/3期	20/3期	21/3期	前期比 増減
投資信託解約益	3,607	3,417	2,423	512	△ 1,911
投資信託解約損	7,556	5,210	4,014	5,770	1,756
合 計	△ 3,949	△ 1,793	△ 1,591	△ 5,257	△ 3,666

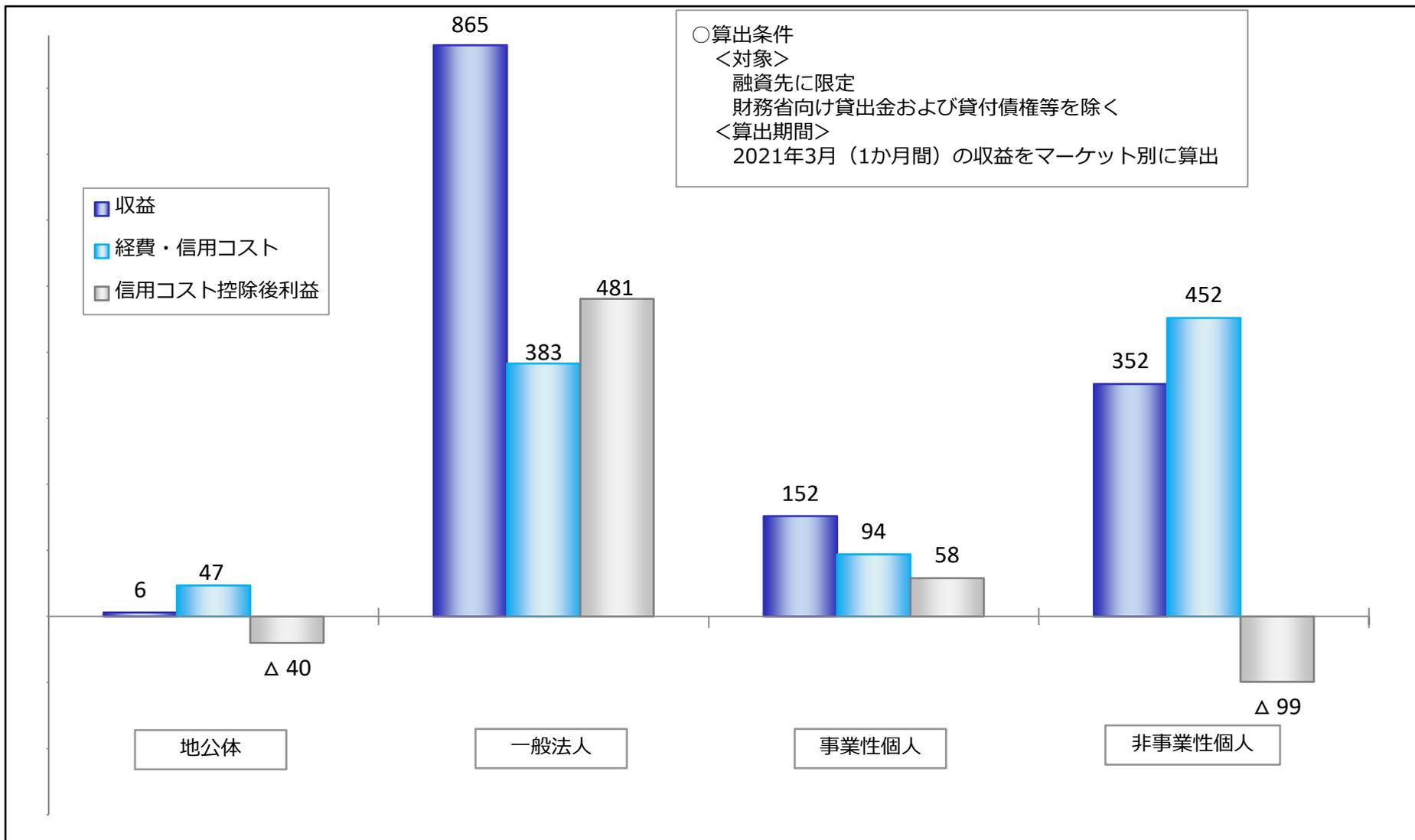
<債券修正デュレーションの推移>

	18/3期	19/3期	20/3期	21/3期	前期比 増減
円 建 債 券	5.7	5.4	5.6	5.9	0.3
外 貨 建 債 券	5.5	5.3	6.1	6.6	0.5

※21/3期から、投信解約損益をネット処理し、収益超過の場合は有価証券利息、損失超過の場合は国債等債券償還損に計上する決算処理に変更（過去分も同様の決算処理に修正して表示）

<2021年3月単月実績>

(百万円)



(百万円、21/3期末)

会 社 名	山梨中央保証(株)	山梨中銀リース(株)	山 梨 中 銀 デビィーシーカード(株)	山 梨 中 銀 経営コンサルティング(株)
設 立 年 月 日	1986年7月1日	1987年4月6日	1991年7月2日	1996年8月2日
資 本 金 (当行出資比率) (グループ出資比率)	20 (99.65%) (99.81%)	20 (35.25%) (66.00%)	20 (30.25%) (67.50%)	100 (45.00%) (87.50%)
事 業 内 容	信用保証業務等	リース業務等	クレジットカード 業務等	総合コンサルティング 業務、 ベンチャーキャピタル等
営 業 収 益	469	4,751	906	196
営 業 利 益	322	377	12	35
経 常 利 益	421	378	59	36
当 期 純 利 益	328	249	45	19
総 資 産	9,404	11,076	3,262	1,436
純 資 産	6,121	3,619	1,398	1,128
借 入 金 残 高 (うち、当行からの借入金残高)	- (-)	6,953 (6,228)	710 (710)	- (-)

山梨県の経済

ワイン



・出荷額全国シェア22.8%で2位
・「山梨」ワイン表示指定（国税庁）

日本酒



・「山梨」日本酒表示指定（国税庁）

ミネラルウォーター



・出荷額全国シェア38.8%で1位

果物



・葡萄・桃・すもも収穫量全国1位

ジュエリー



・ジュエリー出荷額全国2位

絹織物



・羽毛布団出荷額全国3位

ニット



印伝



和紙



・障子紙・書道用紙出荷額全国3位

「2019年工業統計調査（2018年実績 確報）」 「2020年作物統計調査」

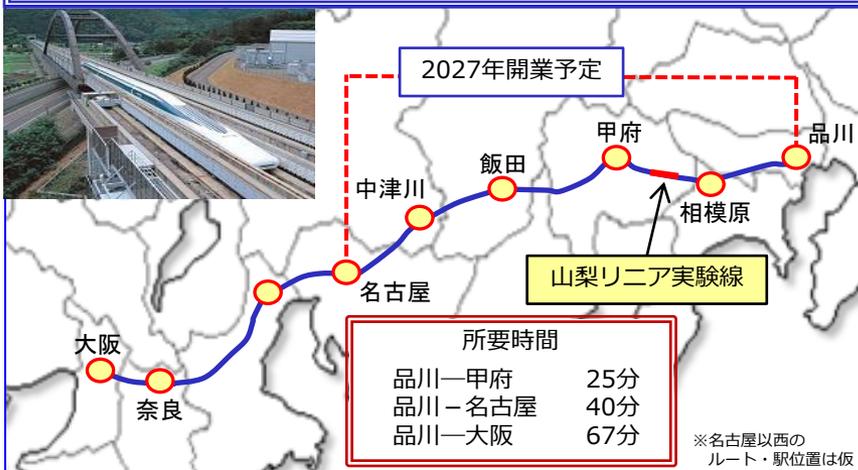
期待効果

関西・東海圏からの**観光客・受注機会増加**、**物流拠点の拡大**、**首都圏への通勤可能範囲拡大による定住者増加等**

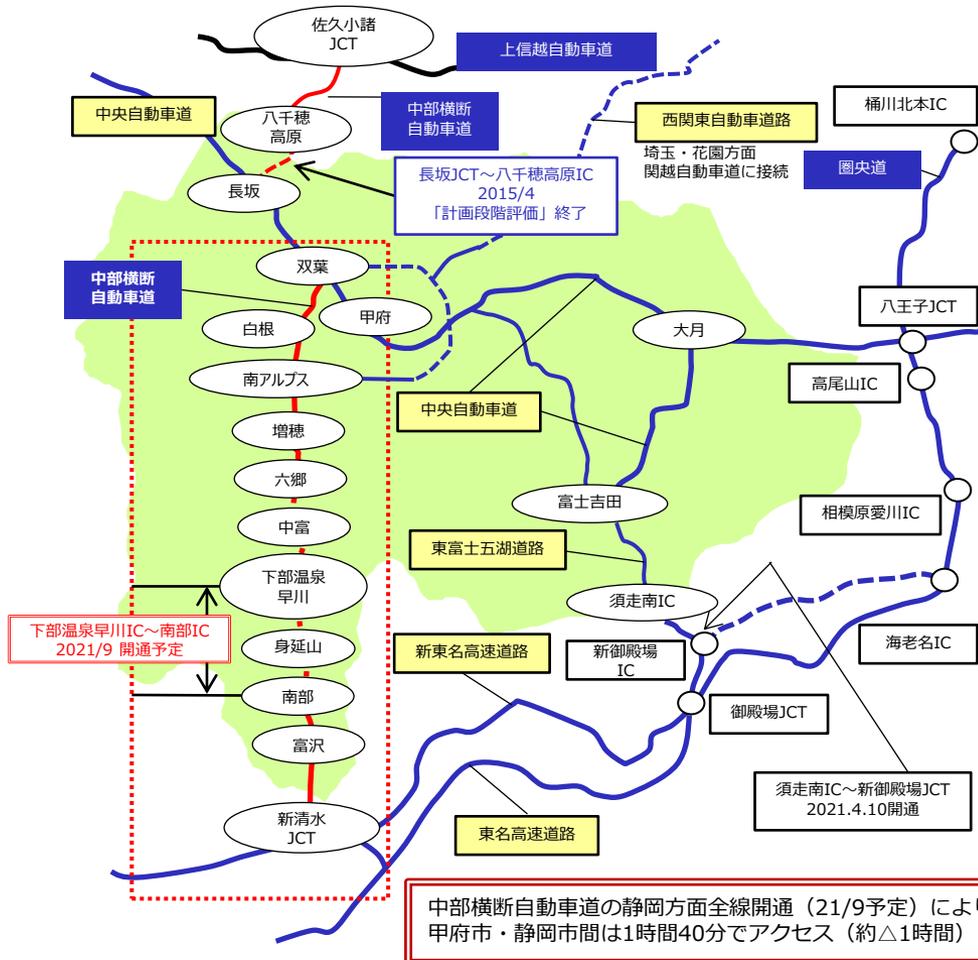
リニア中央新幹線

- ・ 2014.10 国土交通相が着工認可、H39年（2027年）開業予定
- ・ 2015.12 南アルプストンネル（連絡路）の山梨側区間着工
- ・ 2016.01 品川駅着工
- ・ 2016.11 南アルプストンネルの長野工区着工
- ・ 2017.03 山梨県が「リニア環境未来都市整備方針」を策定
- ・ 2018.04 南アルプストンネル（本線）の山梨工区着工
- ・ 2019.11 神奈川県駅（仮称）着工

リニア中央新幹線の路線図



中部横断自動車道



【概況】

山梨県の景気（3月～4月）は、新型コロナウイルス感染症の再拡大により一部に弱い動きがみられるものの、全体としては持ち直している。

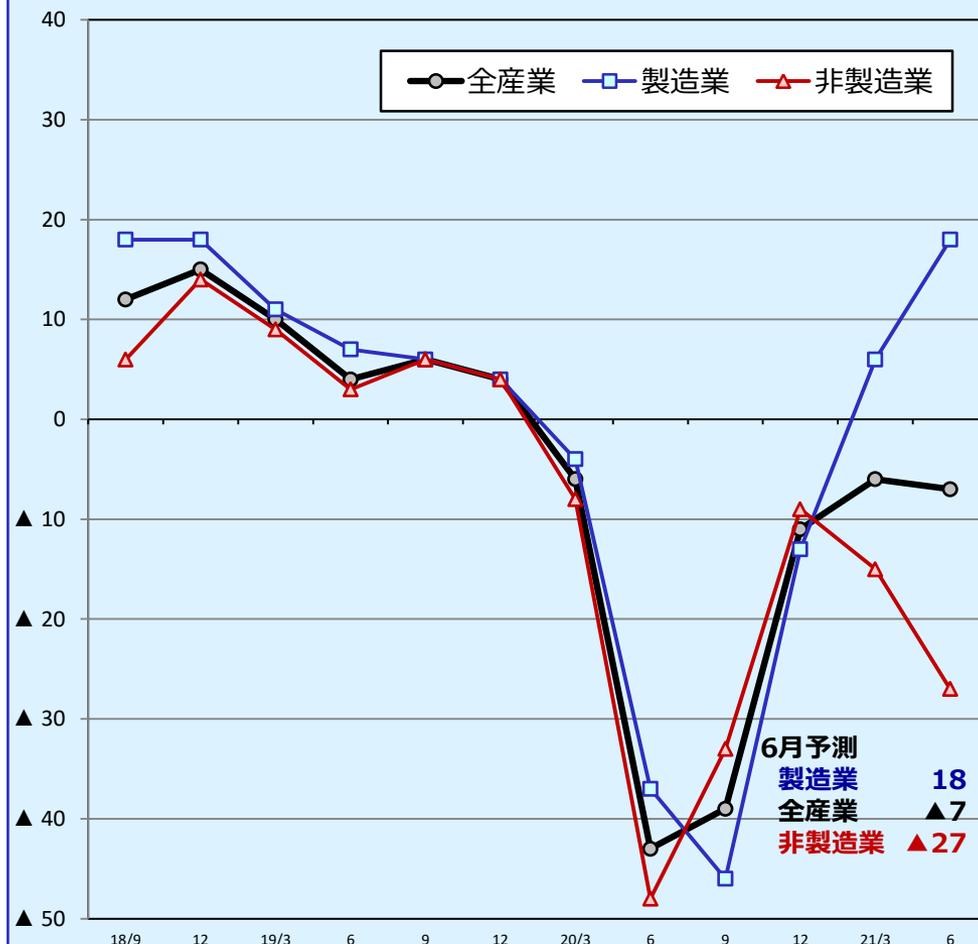
需要面においては、設備投資で慎重姿勢が続いているほか、個人消費も力強さを欠いている。一方、生産面においては、機械工業が増勢を維持している。

日銀短観業況D.I.をみると、製造業に持ち直しが鮮明にみられプラスに転じた一方、非製造業は緊急事態宣言の再発出の影響もあり悪化が続いている。先行きについては、非製造業で更なる落ち込みを見込んでいる。

日銀短観業況判断D.I.（県内）

	12月	3月	6月（予測）
全産業	▲ 11	▲ 6	▲ 7
製造業	▲ 13	6	18
非製造業	▲ 9	▲ 15	▲ 27

日銀短観業況判断D.I.（県内）



「日本銀行甲府支店」

【需要動向】

個人消費は、購買消費が堅調に推移する一方、変異株の蔓延に伴い外食・レジャー等のサービス消費は低調であり、全体としては力強さを欠いている。

設備投資は、機械工業など一部に動きがみられるものの、全体としては慎重姿勢が続いている。

① 個人消費

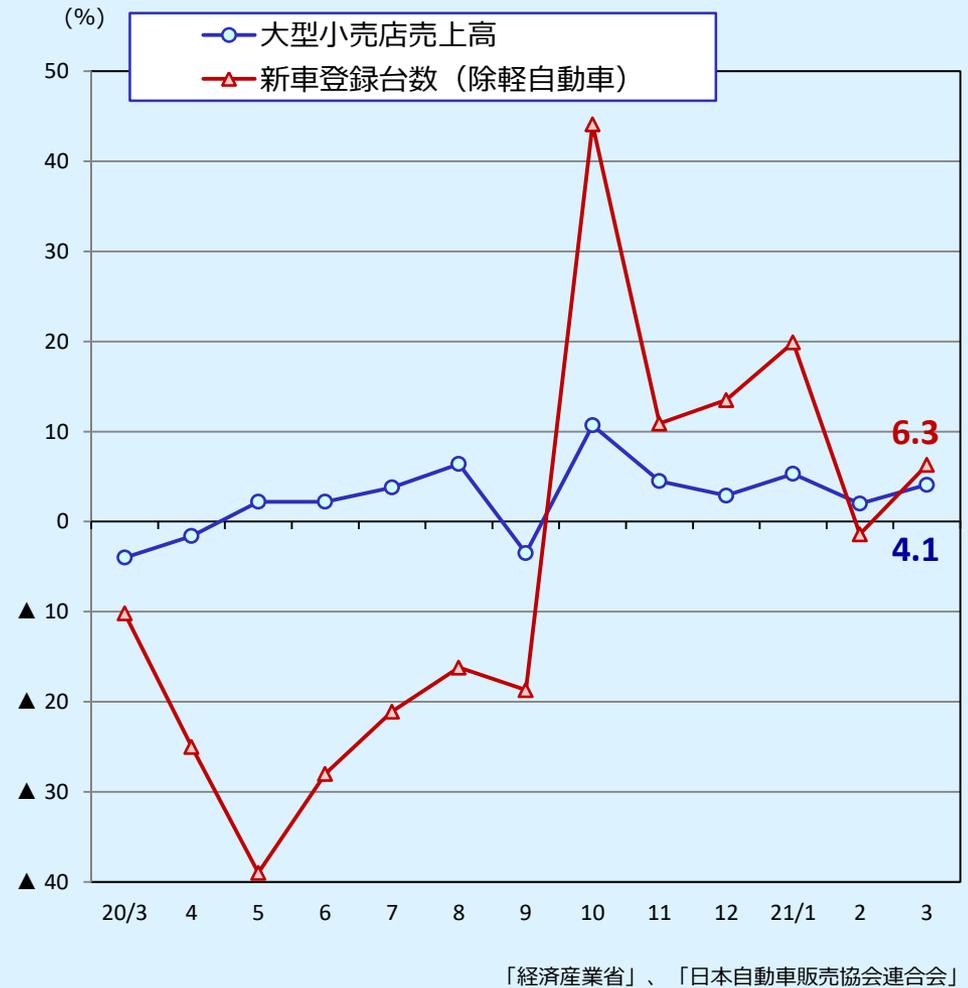
・ 大型小売店売上

新型コロナウイルス感染症再拡大の影響で、不要不急品が弱い動きをみせたものの、在宅時間の長期化を背景に食料品は好調に推移しており、全体としては底堅い動きとなっている。

・ 新車登録台数

消費税増税後の落ち込みからの反動増のほか、新型車の販売効果で持ち直していたが、足元では感染再拡大や半導体不足による生産調整の影響でやや弱含みの推移となっている。

需要動向①（前年比増減率）



・ 観光・レジャー

新型コロナウイルス感染症の影響で、インバウンド需要が消失しているなか、国内観光客については、公的支援策なども活用した個人旅行が県内各所で増加するなど持ち直しの動きがみられたものの、年明け以降は感染再拡大に伴い外出自粛の動きが再び強まったことから、低調な状況となっている。

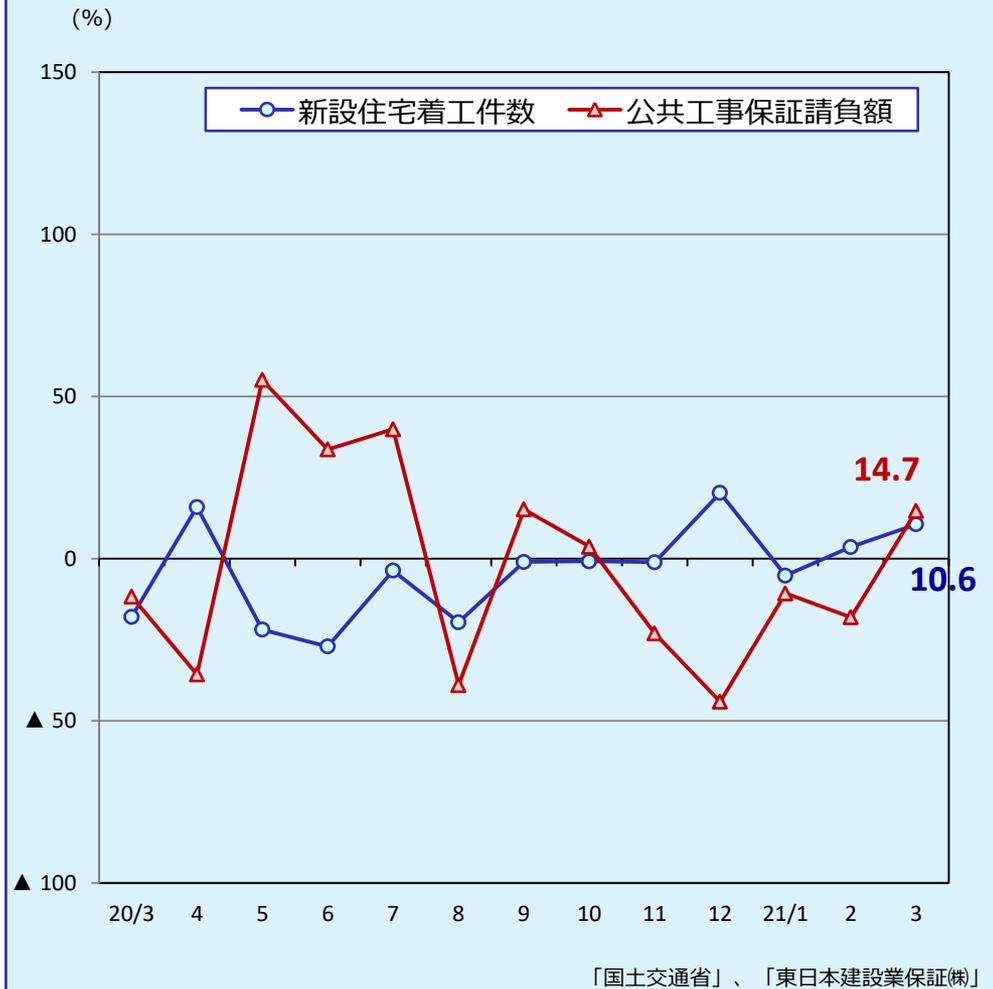
② 住宅建設

消費税増税の反動や新型コロナウイルス感染症の影響もあり、前年を下回る動きが続いていたが、秋口以降は持ち家を中心に緩やかな持ち直しの動きがみられる。

③ 公共工事

周期的に増減を繰り返しているが、全体としては例年並みの水準となっている。

需要動向②（前年比増減率）

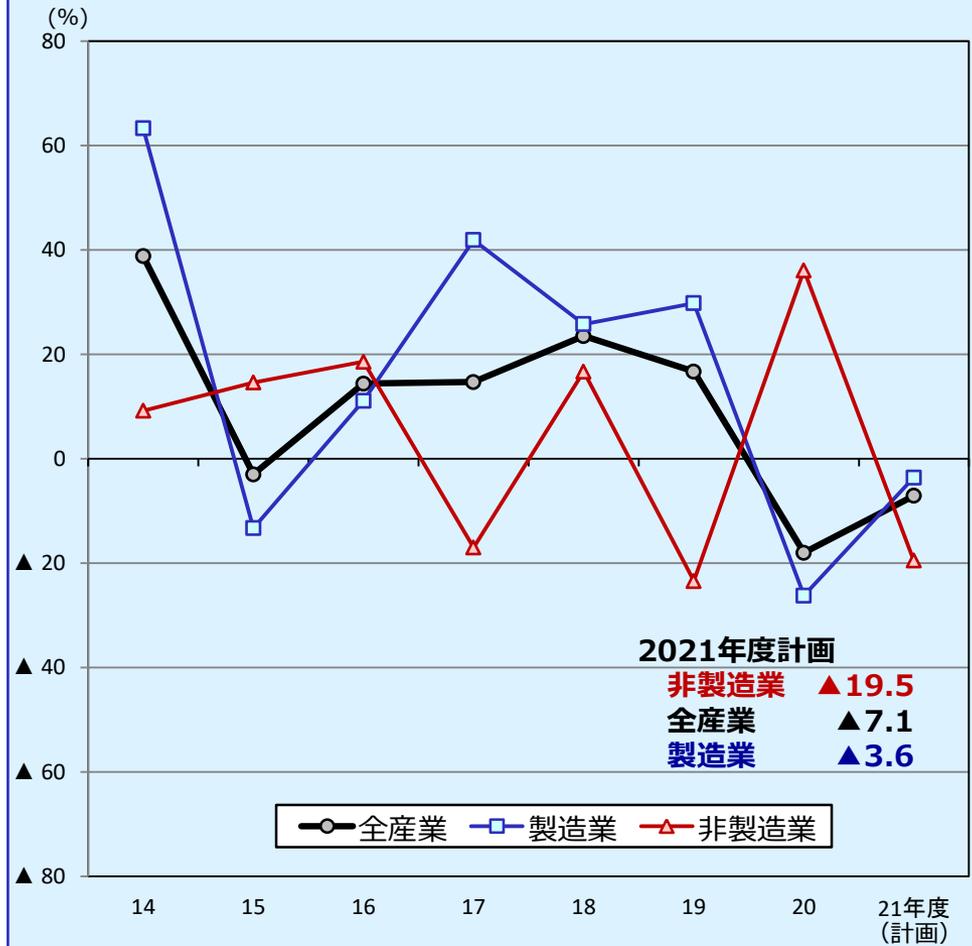


④ 設備投資

設備投資は、慎重姿勢が窺われる。

なお、日銀短観（3月調査）によると、2021年度は製造業・非製造業ともに前年度を下回る計画となっている。

県内設備投資動向（日銀短観）（前年度比増減率）



「日本銀行甲府支店」

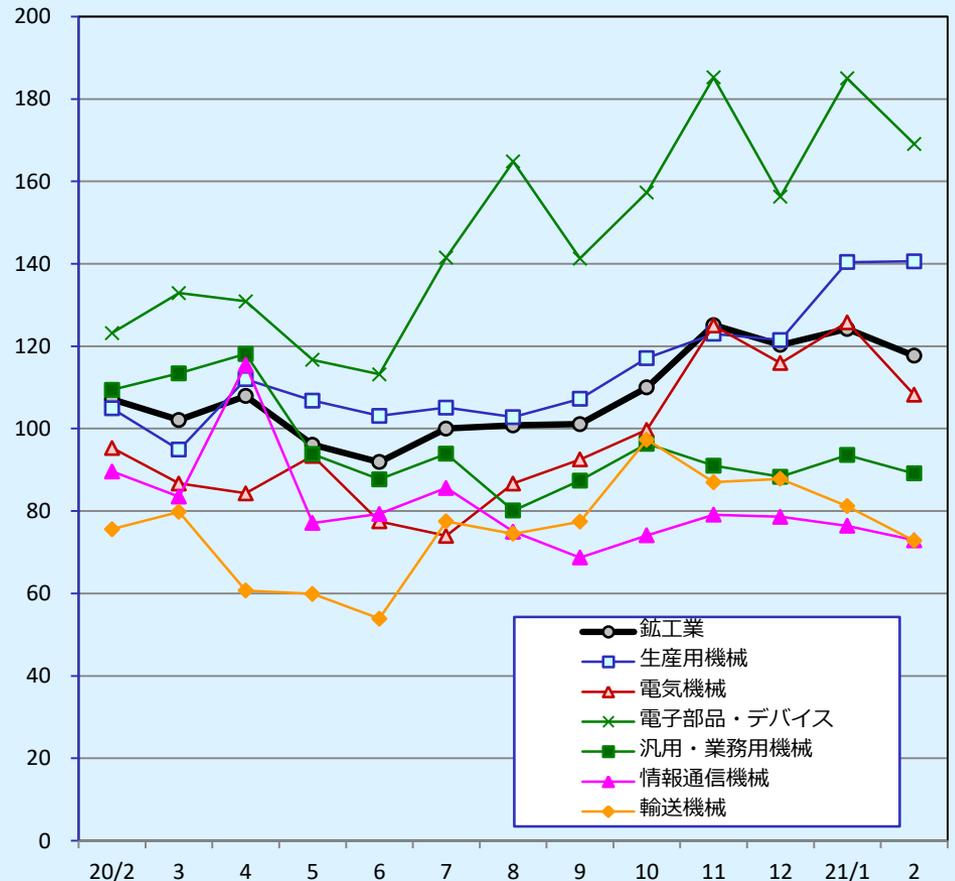
【生産活動】

機械工業は、スマートフォン向け電子部品や半導体製造装置が好調なほか、工作機械やコンピュータ数値制御装置などにも改善の動きがみられるなど、増勢を維持している。

地場産業は、国内需要の縮小や原材料価格の上昇のほか、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、全体として厳しい局面が続いているものの、一部の業種では増産の動きがみられる。

先行きについて、在宅勤務の増加や巣ごもり需要の定着、次世代通信規格「5G」の拡大などを背景に、半導体製造装置や各種電子部品などの需要拡大が見込まれることから、ペースは緩やかながらも改善していくと考えられる。

鉱工業生産指数（季調済、2015年=100）



「県統計調査課」

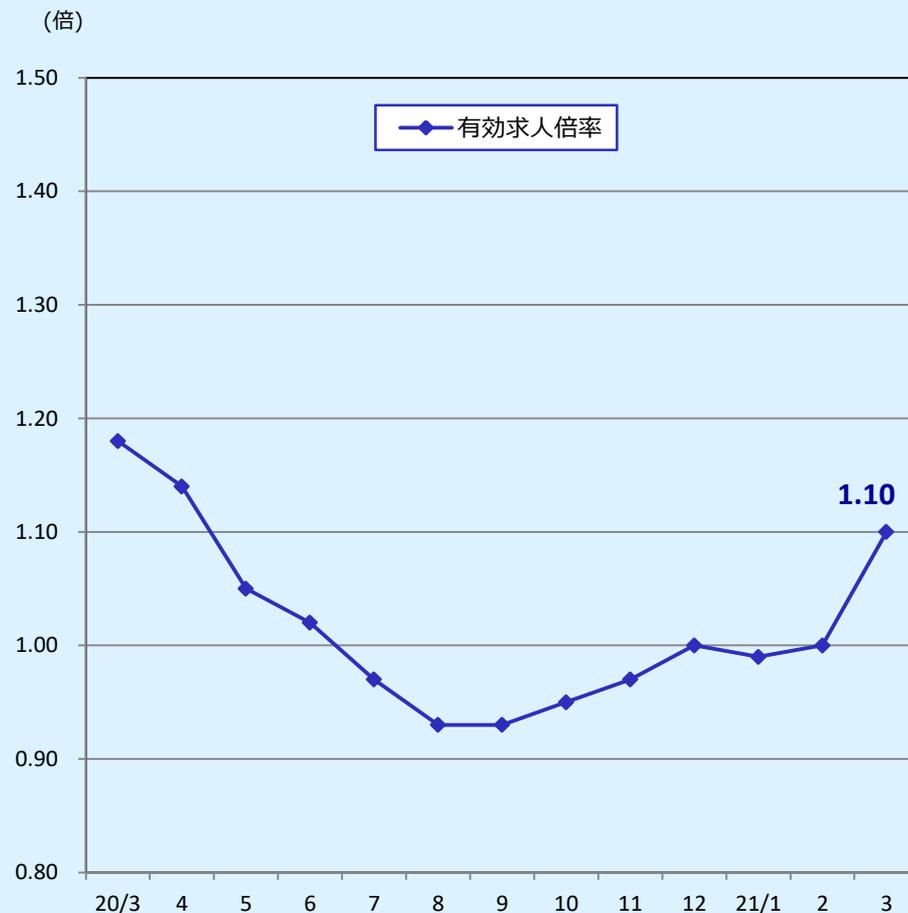
【雇用情勢】

有効求人倍率は、新型コロナウイルス感染症の影響もあり急速に落ち込んだが、秋口以降は回復基調で推移している。

	山梨県	全 国
有効求人倍率（3月）	1.10倍	1.10倍

「厚生労働省」

雇用情勢

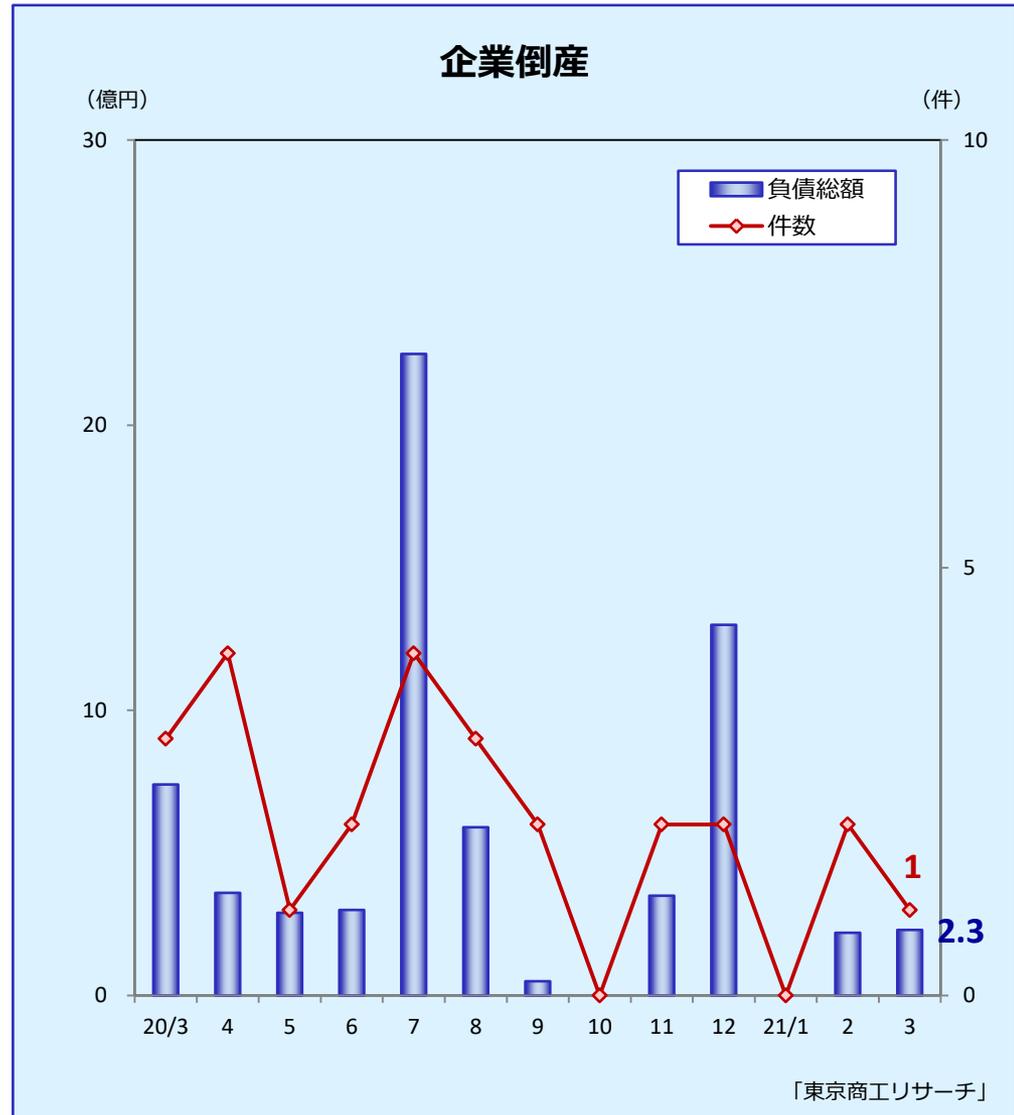


「山梨県労働局職業安定部」

【企業倒産】

2020年度下半期（20年10月～21年3月）の県内企業倒産（負債総額1千万円以上）は、件数が7件、負債総額が20億89百万円となった。

件数は前年同期比19件（73.1%）の減少、負債総額も同11億85百万円（36.2%）減少した。

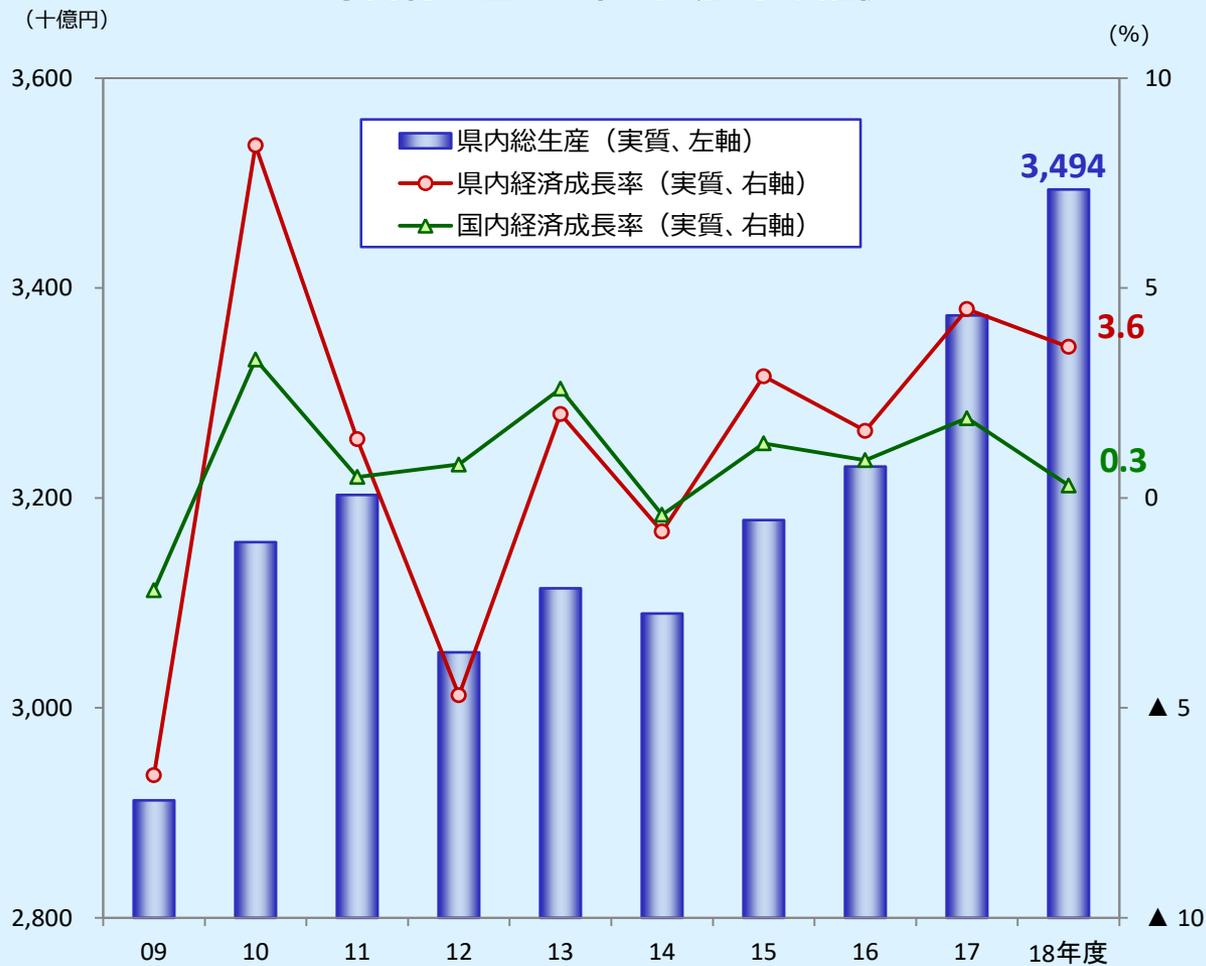


【山梨県経済の特性】

県内経済の実質成長率は、このところ緩やかな回復傾向をたどっている。

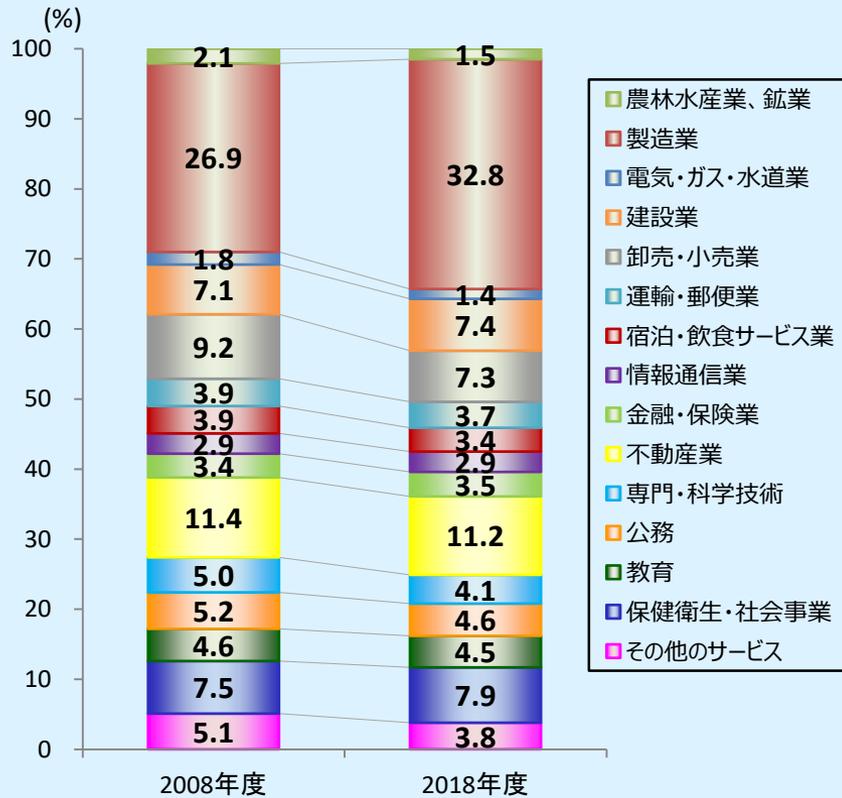
なお、日本経済研究センターの推計によると、山梨県の成長率（2011～2025年までの平均）は0.4%前後と、全国第34位となっている（2014年推計）。

県内総生産額・経済成長率の推移



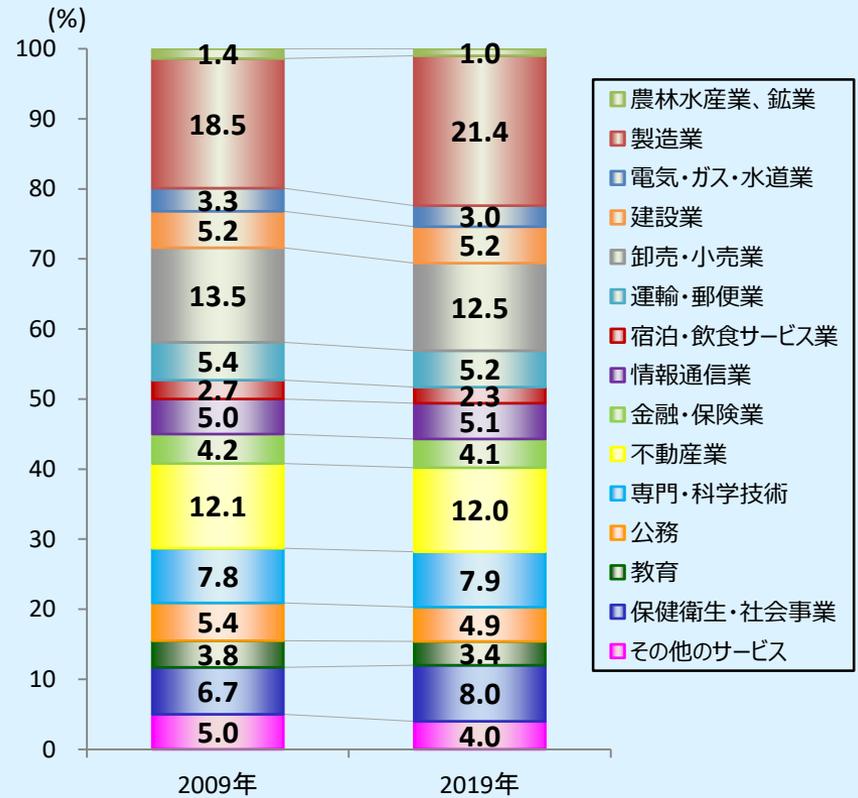
「内閣府 国民経済計算年報」、 「山梨県 県民経済計算年報」

山梨県の経済活動別県内総生産



「山梨県 県民経済計算年報」

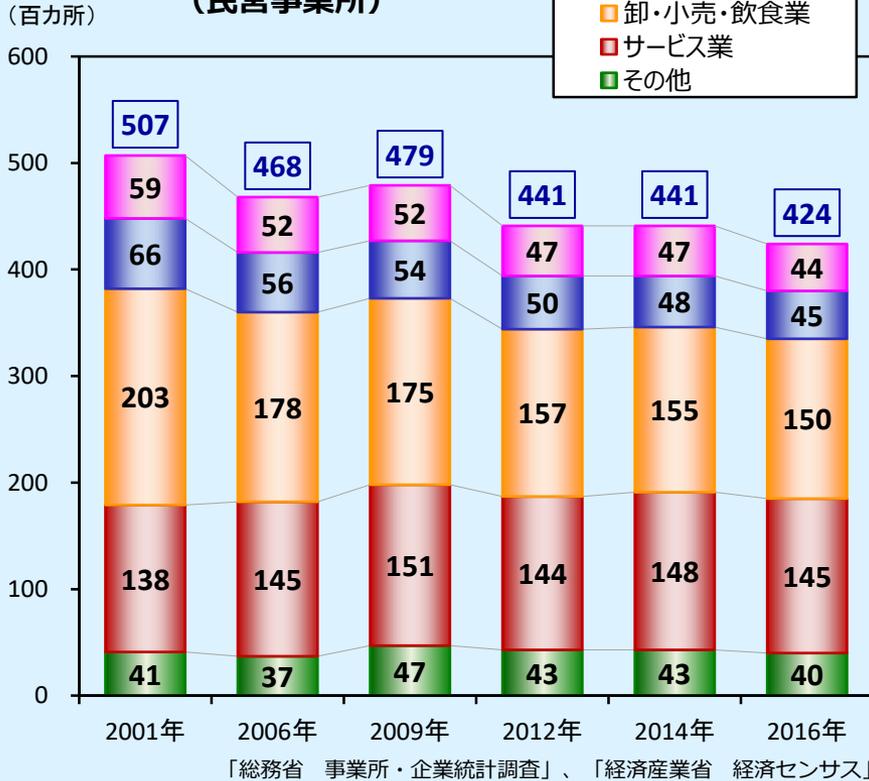
全国の経済活動別国内総生産



「内閣府 国民経済計算年報」

○ 産業別構成比を全国と比較すると、製造業のウエイトが高い。

県内産業別事業所数の推移 (民営事業所)



県内産業別従業者数の推移 (民営事業所)



【事業所数・従業者数】

- 事業所数は、輸入品との競争による地場産業の減少や、中心市街地の衰退による小売業の減少などを要因に、1986年をピークに減少傾向。
- 従業者数は、生産効率の向上や事業所数の減少に伴う正社員の減少などを背景に、1996年をピークに減少傾向。
- こうした中、サービス業のうち「医療・福祉」の事業所数・従業者数が増加している。

※2009年以降は「経済センサス」の数値（事業所数、従業員数とも調査対象を拡大しており、2006年までのデータとの連続性はない）

※民営事業所とは、国及び地方公共団体の事業者所を除く事業所をいう。

【製造品出荷額等の推移】

- 山梨県の工業構造は、1982年の中央自動車道全線開通と相前後して機械工業の集積が急速に拡大し、現在では製造品出荷額等の約6割を占める。

<製造品出荷額等>

- 1982年：1兆834億円
→ 2019年：2兆4,815億円（129.0%増）

<全体に占める機械工業の割合>

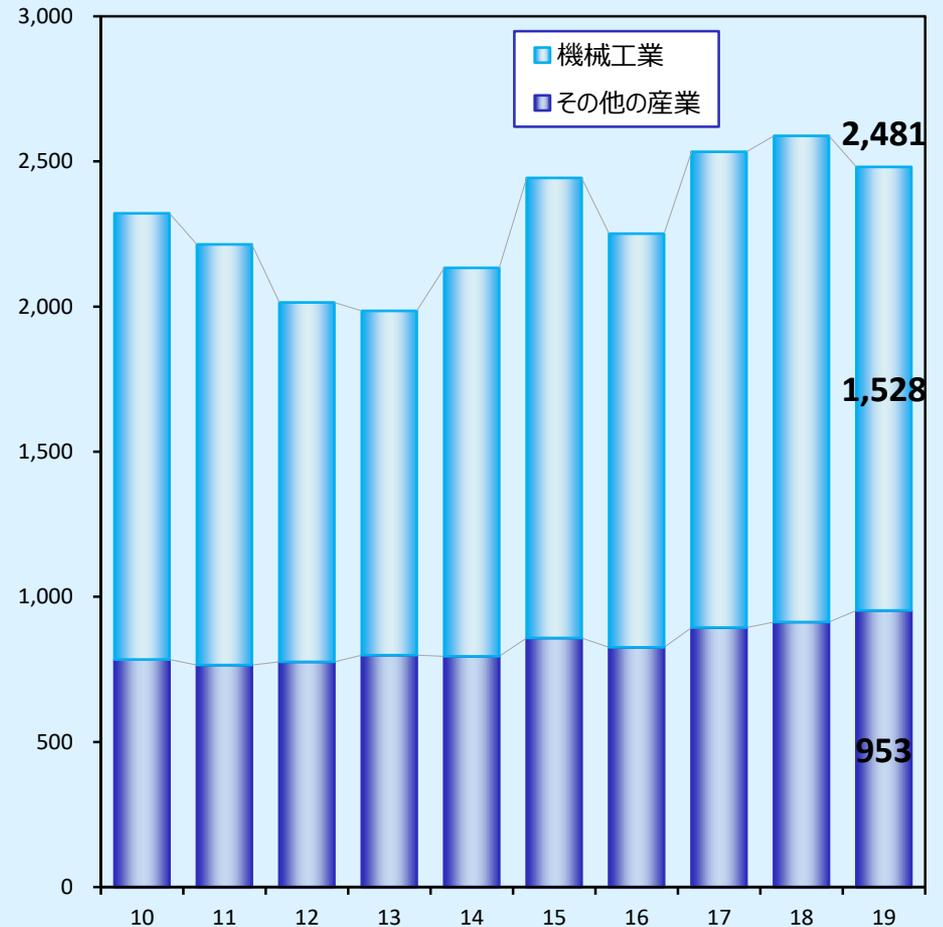
- 製造品出荷額等に占める機械工業の割合は61.6%(2019年)であり、全国の同割合45.5%と比較して高い。

山梨県の製造品出荷額等の順位とリーディング産業の変遷

	全国順位	リーディング産業
1950年	40位	繊維
1970年	40位	繊維
1990年	33位	電気機械
2010年	33位	生産用機械
2011年	33位	電気機械
2015年	33位	生産用機械

県内製造品出荷額等の推移

(十億円)



「山梨県 工業統計調査結果」、 「経済産業省 経済センサス」

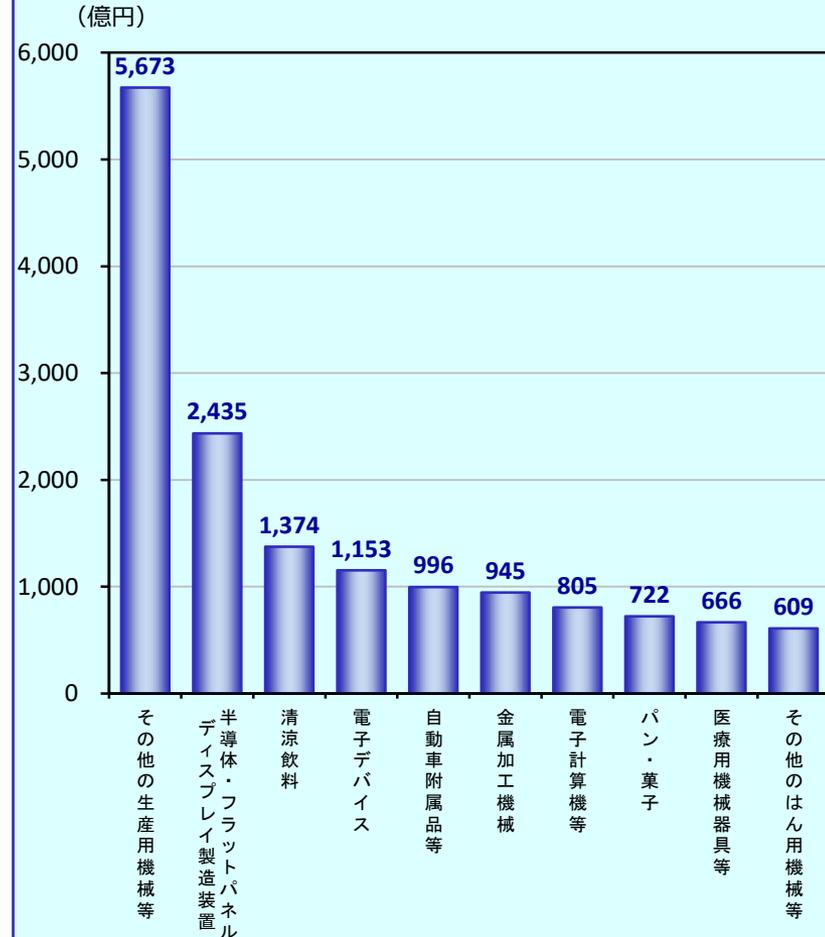
- 生産用機械、半導体・フラットパネルディスプレイ製造装置等のウエイトが高い。
- このほかにも、情報通信機器向けの各種デバイス等、最先端のIT関連産業が集積している。
- 中小企業の技術水準も着実に上昇。
ニッチマーケットながら国内・世界市場で高シェアを獲得する企業も存在。

全国上位の生産品目（2018年実績）

品目	出荷額	全国シェア	順位
数値制御ロボット	2,791億円	74.8%	1位
ミネラルウォーター	717億円	38.8%	1位
巻上機	286億円	31.8%	1位
真空装置等	115億円	18.7%	1位
電気溶接機部分品等	98億円	24.5%	1位
工業計器部分品等	53億円	17.0%	1位
半導体・IC測定器	509億円	20.0%	2位

「2019年 工業統計調査」

製造品出荷額上位10品目（2018年）



「2019年 山梨県 工業統計調査結果」

経済力基本指標				産業関連指標				生活関連指標			
項目	年次	数値	順位	項目	年次	数値	順位	項目	年次	数値	順位
総面積	2021年	4,465km ²	32	民営事業所数	2019年	47,448か所	41	家計実収入 (勤労者世帯1世帯 当たり1か月平均)	2020年	627,129円	23
可住地面積比率	19年	21.4%	44	製造品出荷額等	19年	24,815億円	34				
自然公園面積比率	19年	27.1%	8	同従業員1人当たり	19年	33,594千円	27	消費支出 (勤労者世帯1世帯 当たり1か月平均)	20年	306,085円	25
総人口	19年	811千人	42	年間商品販売額	16年	18,827億円	42				
世帯数	20年	363千世帯	41	同従業員1人当たり	16年	31,868千円	33	平均消費性向 (勤労者世帯)	20年	60.1%	24
年少人口比率	19年	11.7%	33	農業産出額	19年	914億円	34	自家用車保有台数 (軽自動車含む・人口千人当たり)	20年	674台	4
生産年齢人口比率	19年	57.5%	20	生産農業所得率	19年	36.5%	28	公立図書館数 (人口1万人当たり)	19年	0.64か所	1
老年人口比率	19年	30.8%	24	新設住宅着工戸数	20年	4,101戸	41	コンビニエンスストア数 (人口10万人当たり)	19年	56.6店	2
人口増加率	19年	△0.80%	33	新設住宅1戸当たり 床面積	20年	103.4m ²	1	住宅地平均価格 (基準地価・1m ² 当たり)	20年	24,000円	39
県内総生産額(実質)	17年度	33,458億円	40	公共工事請負契約額	20年	1,547億円	42	持家比率	18年	70.2%	15
経済成長率(実質)	17年度	3.9%	4	建築着工物床面積	20年	661,452m ²	43	教育費割合 (勤労者世帯対消費支出)	20年	5.2%	21
1人当たり県民所得	17年度	2,973千円	20	有効求人倍率	20年	1.05倍	36	大学等進学率	20年	57.0%	10

○ 総人口全国42位、県内総生産40位など、規模的には下位に位置するが、従業員1人当たりの製造品出荷額など、単位当たりの比率で見ると中位にランク。経済活動、生活水準等は比較的良好な水準にあるといえる。